

令和5年度 条例予算特別委員会

主要事業概要

1. 当初予算案の概要	
(1) 令和5年度の重要施策	1 頁
(2) 令和5年度の特徴ある事業等	3 頁
2. 各事業の概要	
(1) 道路整備	
・ 道路整備アクションプラン	14 頁
・ 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）	15 頁
・ 福岡高速3号線延伸事業	17 頁
・ 自転車活用の推進	19 頁
・ 無電柱化の推進	21 頁
・ 交通安全対策	23 頁
(2) 河川整備	
・ 治水対策事業（主要な河川整備）	25 頁
(3) 下水道整備	
・ 下水道経営計画	27 頁
・ 改築更新（下水道施設のアセットマネジメント）	28 頁
・ 浸水対策（雨水整備D.O.プラン2026）	29 頁
・ 浸水対策（雨水整備レインボープラン天神）	33 頁
・ 地震対策（下水道施設）	35 頁
（参考）	
・ 道路現況、河川整備状況、下水道普及状況	37 頁
・ 水処理センターにおける主な再生可能エネルギーの導入状況	38 頁
・ 道路下水道局における整備予算の推移	39 頁
・ 令和5年度 主な新規着手・整備完了予定箇所	41 頁

令和5年3月

道路下水道局

令和5年度 道路下水道局 重要施策

道路下水道局 当初予算 総括表

(単位：百万円)

区分	令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	前年度比較 (A-B)	対前年比 (A/B)
一般会計	51,005	47,650	3,355	107.0%
道路・街路	26,880	25,695	1,185	104.6%
河川	3,847	1,782	2,065	215.8%
下水道事業 負担金等	20,279	20,172	107	100.5%
下水道事業会計	116,997	112,394	4,603	104.1%

※四捨五入の関係で、各計数の和が一致しない場合がある。



道路・街路整備

令和5年度
(千円)

令和4年度
(千円)

対前年比

【道路整備アクションプラン2024 (R3~R6)、福岡市自転車活用推進計画 (R3~R6) に基づき事業を実施】

○ 幹線道路整備	1,533,891	(2,050,779)	74.8%
・都市計画道路野間屋形原線等の整備、無電柱化の推進			
○ 生活道路等整備	3,415,834	(3,402,330)	100.4%
・市民生活に密着した道路拡幅や側溝整備			
・海辺を活かした観光振興に向けた道づくり			
・博多旧市街プロジェクト～歴史・文化に配慮した道づくり～			
・情緒ある路地空間の創出 (西中洲)			
・Fitness Cityプロジェクトの推進 等			
○ 交通安全施設整備	5,292,722	(5,185,241)	102.1%
・通学路等の安全対策、無電柱化、道路のバリアフリー化、エスコートゾーン、 自転車通行空間、駐輪場整備、直営灯LED化、ゾーン30プラス 等			
○ 連続立体交差事業	2,482,180	(1,641,497)	151.2%
・西鉄天神大牟田線 (雑餉隈駅付近)			
○ 直轄工事費負担金	689,000	(689,000)	100.0%
・国道3号 等			
○ 道路施設のアセットマネジメント	3,679,523	(3,721,737)	98.9%
・道路や橋梁等のアセットマネジメント			
○ その他	2,425,418	(1,877,542)	129.2%
・福岡北九州高速道路公社への出資金・貸付金 等			


第9次 福岡市基本計画

生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出す

道路下水道局 運営方針

市民の安全・安心を守り 都市の魅力に磨きをかける

 河川整備	令和5年度 (千円)	令和4年度 (千円)	対前年比
○ 治水対策 ・都市基盤河川及び準用河川の改修 等 (周船寺川、水崎川、金屑川、香椎川 等)	2,103,445	(623,490)	337.4%
○ 局地的豪雨対策 ・護岸の改良や河床の洗掘防止等 (大谷川)	10,200	(27,000)	37.8%
○ 環境整備 ・水辺空間を活用したうるおいや親しみのある整備 (弁天川)	130,000	(11,000)	著増
○ 河川施設のアセットマネジメント ・排水機場などのアセットマネジメント (上牟田川排水機場 等)	920,178	(446,209)	206.2%

 下水道整備	令和5年度 (千円)	令和4年度 (千円)	対前年比
【下水道経営計画2024 (R3~R6) に基づき事業を実施】			
○ 浸水対策 ・雨水管の整備 (中部9号幹線、中部12号幹線) 等	4,879,041	(4,957,500)	98.4%
○ 地震対策 ・下水管の耐震化 (西新第1雨水幹線) 等	3,501,696	(2,665,000)	131.4%
○ 未整備区域の解消 ・下水管の整備 (香椎照葉) 等	2,524,835	(2,160,600)	116.9%
○ 合流式下水道の改善 ・浸水対策と連携した浸透側溝整備 (天神周辺地区) 等	725,290	(552,000)	131.4%
○ 再生水利用 ・再生水管の整備 (松島) 等	302,000	(245,000)	123.3%
○ 下水道施設のアセットマネジメント ・下水管や水処理センター等のアセットマネジメント (西部水処理センター 等)	14,254,138	(14,259,682)	100.0%

特色ある事業：都市の成長

1 都心部の機能強化と魅力づくり



都心部である天神地区、博多駅周辺地区におけるまちづくりと連携し、それぞれの地区の特性に応じた道路空間の整備に取り組みます。

天神通線の整備



予算 37,880千円
(道路計画課)

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、沿線のまちづくりと一体となって都市計画道路天神通線の整備に取り組みます。

<令和5年度主な事業内容>

天神通線（南側の測量に着手） **(新規)**



北側整備イメージ(明治通り～昭和通り)



情緒ある路地空間の創出(西中洲)

西中洲地区の魅力づくりに向けた石畳による道路整備と景観誘導※に取り組みます。

※については、住宅都市局にて実施

<令和5年度予定箇所>

・市道西中洲60号線



—: R5年度整備予定 —: 整備完了

予算 101,500千円
(道路計画課)

整備事例



博多旧市街プロジェクト～歴史・文化に配慮した道づくり～

博多部において、価値ある資源をストーリーとまちなみでつなぎ、「博多旧市街」エリアとして、市民や観光客が認知し楽しんでもらえる環境を整え、魅力を高めていくプロジェクトに取り組んでいます。歴史資源や名所をつなぎ、趣のある道路として再整備します。

<令和5年度主な予定箇所>

・市道綱場町409号線外（土居通り）



—: R5年度整備予定 —: 整備完了 - - -: 整備中



予算 126,500千円
(道路計画課)

整備状況 (柳田表参道)



2 Fukuoka East & West Coast プロジェクト



海辺を活かした観光振興に向けた道づくり

海辺の観光周遊コースの形成に向けて、志賀島、北崎地区の美しい海辺空間としての魅力を最大限高めるため、豊かな自然環境と調和した道路整備に取り組みます。

<令和5年度事業内容>

・志賀島：無電柱化（継続）（P5再掲）



予算 220,000千円
(道路計画課)

整備イメージ (志賀島)



整備状況 (北崎)



3 九州大学箱崎キャンパス跡地周辺の道路整備



九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりと連携し、最寄鉄道駅（JR箱崎駅、地下鉄箱崎九大前駅）からのアクセス道路等について、誰もが安心して移動できる道路空間の形成に向け、無電柱化等の整備に取り組みます。



予算 308,500 千円
 (道路利活用推進課)



4 福岡空港へのアクセス強化と空港周辺道路の渋滞緩和

福岡高速3号線（空港線）延伸事業

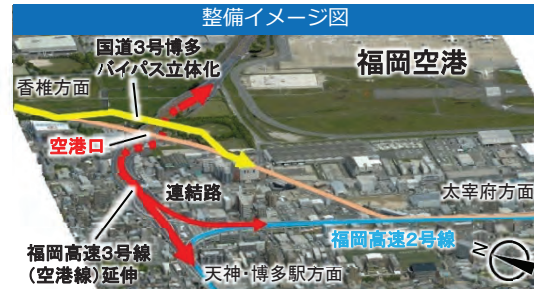
福岡空港の滑走路増設等の機能強化を見据え、福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図るため、福岡高速3号線延伸事業を推進します。

（事業主体：福岡北九州高速道路公社）

<令和5年度主な事業内容>

用地買収・地下埋設物等移設工事 等

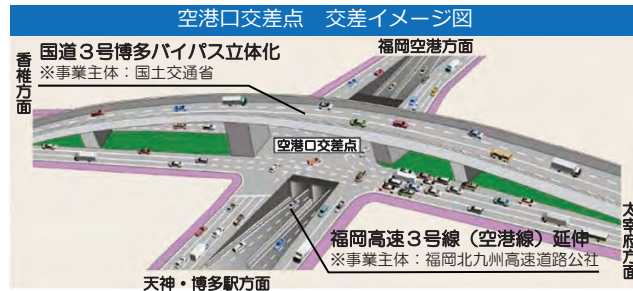
予算 1,120,000千円
 (高速道路推進課)



(関連事業)国道3号博多バイパス立体化事業

空港周辺道路の渋滞緩和を図るため、国道3号博多バイパス立体化事業を促進します。

（事業主体：国土交通省）



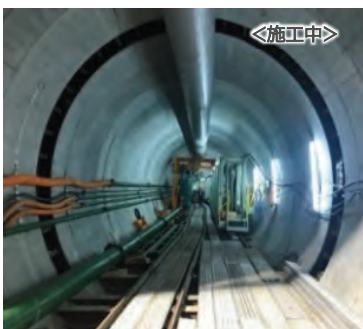
5 都心部の浸水対策の推進



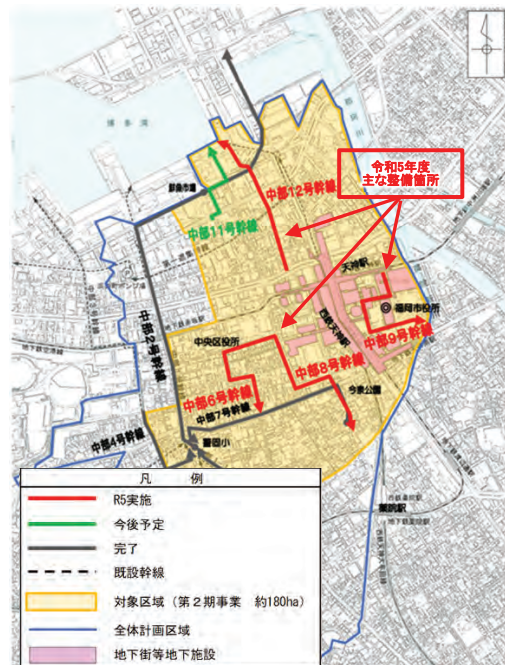
「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業

都心部である天神周辺地区は、地下空間利用が高度に進み、都市機能が集積していることから、浸水による影響が極めて大きいため、雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」第2期事業（令和元年度～令和8年度）に基づき、引き続き、浸水対策に取り組みます。

予算2,708,287千円
 (下水道企画課)



▲中部2号幹線（内径5.00m）



特色ある事業：生活の質の向上

6 自転車活用の推進



「福岡市自転車活用推進計画」（令和3年度～令和6年度）に基づき、以下の整備を推進します。

予算 510,000千円
（自転車課）

自転車通行空間整備の推進

歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備します。

<令和5年度主な予定箇所>

- ・市道博多姪浜線（昭和通り）（継続）
- ・一般県道内野次郎丸弥生線（継続）
- ・主要地方道志賀島和白線（海の中道）（新規）

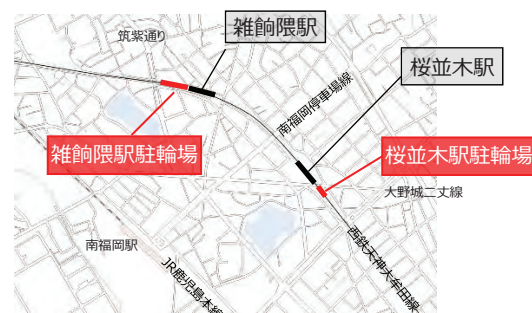


駐輪場整備の推進

まちづくりの進展の機会を捉え、駐輪場を整備します。

<令和5年度主な予定箇所>

- ・西鉄天神大牟田線 雑餉隈駅（令和5年度完了予定）
駐輪台数：約500台
- ・西鉄天神大牟田線 桜並木駅（令和5年度完了予定）
駐輪台数：約300台
- ・地下鉄七隈線 橋本駅（設計）（新規）



7 無電柱化の推進



「福岡市無電柱化推進計画」（令和3年度～令和7年度）に基づき、「防災」「安全・円滑な交通確保」「景観形成・観光振興」等の観点から、無電柱化を計画的に推進します。また、「ファスト地中化※」や「工事ヤードの常設化」の実証実験を行うなど、コスト縮減や事業のスピードアップを図ります。

予算 1,514,100千円
（道路利活用推進課）

<令和5年度主な予定箇所>

- ・市道清水干隈線（継続）
- ・主要地方道志賀島和白線（継続）（P3再掲）
- ・市道百道通線（継続）

ファスト地中化※のイメージ



※災害時の大規模停電につながる電線類を、先行して地中化すること

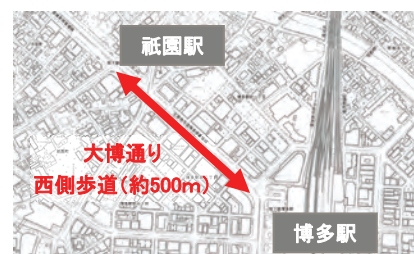
8 Fitness Cityプロジェクトの推進



「福岡100」の一環として、自然と楽しく体を動かしたくなる仕組みや仕掛けがあるまちづくり『Fitness Cityプロジェクト』に取り組んでいます。

予算 19,000千円
（道路利活用推進課）

博多駅と祇園駅をつなぐ大博通りの西側歩道では、「ひと駅分の歩きを促す、歩いて楽しい空間づくり」として、木製デッキやベンチ設置による、木陰を活用した憩い空間整備や、路面標示などによる歩きを促す仕掛けに取り組みます。

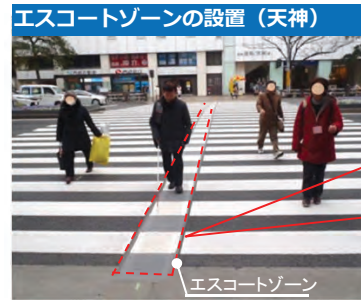




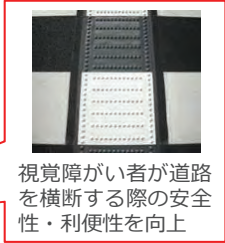
9 エスコートゾーンの推進 【拡充】

誰もが安心して移動できる道路空間の創出に向け、横断歩道へのエスコートゾーン設置を推進

「福岡市バリアフリー基本計画」に基づき、生活関連経路のうち視覚障がい者の移動上の安全性を確保することが特に必要と認められる箇所において、県警察と連携しながらエスコートゾーンの設置に取り組みます。令和5年度は、生活関連経路における横断距離の長い横断歩道等のうち、令和6・7年度に道路整備と併せて設置する15箇所を除く74箇所を設置します(直轄国道を除く)。



予算 110,000千円
(道路計画課)



視覚障がい者が道路を横断する際の安全性・利便性を向上

10 交通安全対策の推進



「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、引き続き通学路等の安全対策に取り組むとともに、小学校から半径250m以内の道路においても、誰もが安心して歩ける歩行空間の整備を重点的に取り組みます。

また、車両走行情報のビッグデータを活用して設置するハンプ等と車両の速度規制を組み合わせ、ゾーン30プラスを推進します。(P10再掲)

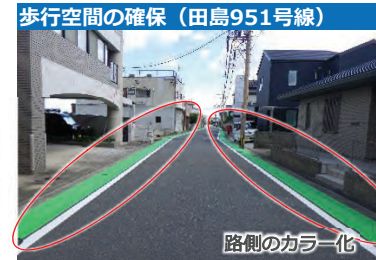
さらに、全国的な交通事故の状況を踏まえ、交差点や踏切道等の交通安全対策を引き続き実施します。

予算 2,489,254千円
(道路計画課)



通学路の交通安全対策 (周船寺有田線)

歩道整備



歩行空間の確保 (田島951号線)

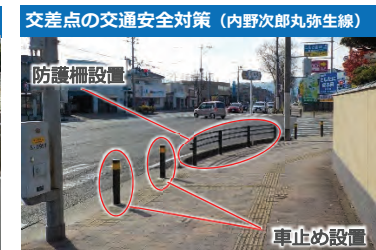
路側のカラー化



ゾーン30プラスの推進 (千早5丁目)

【拡充】

ハンプの実証実験



交差点の交通安全対策 (内野次郎丸弥生線)

防護柵設置

車止め設置

11 西鉄天神大牟田線連続立体交差事業 (雑餉隈駅付近)



西鉄雑餉隈駅付近において交通の円滑化と良好な住環境の形成を進める事業で、令和4年8月28日に鉄道の運行を高架上に切り替えました。

高架切替後も令和5年度末の桜並木駅開業及び令和7年度の側道全線開通に向け、駅舎整備や側道整備等に取り組めます。

予算 2,482,180千円
(雑餉隈連続立体交差課)



雑餉隈駅と高架橋



桜並木駅イメージ

特色ある事業：生活の質の向上

12 浸水対策の推進



大雨に強い安全・安心なまちづくり

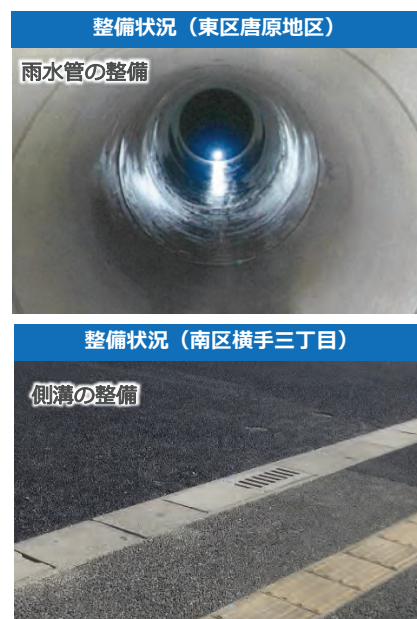
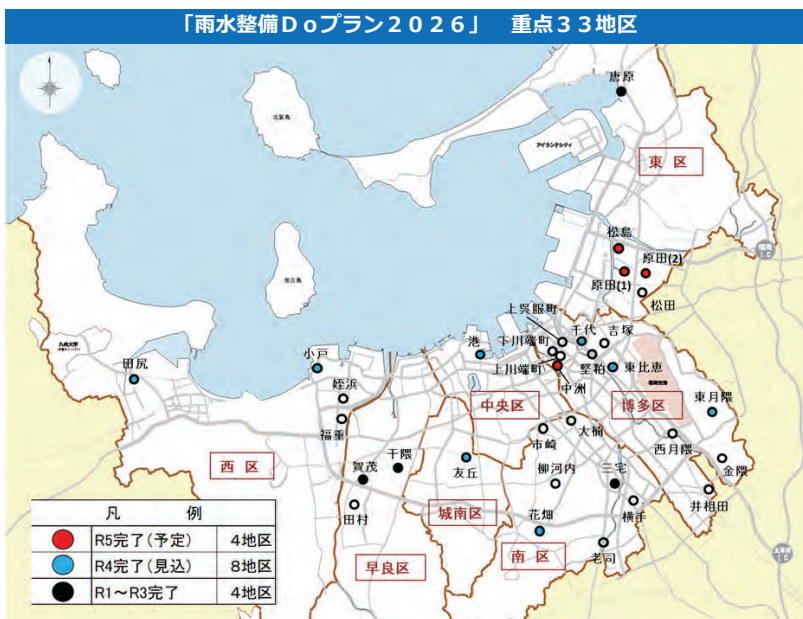
予算2,170,754千円
(下水道企画課)

平成11年6月29日の豪雨で、浸水被害が重大であった地区について、重点的に雨水対策に取り組んできました。

引き続き、「雨水整備Dプラン2026」(令和元年度～令和8年度)の重点地区を優先的に進めるなど、浸水対策に取り組めます。

<令和5年度完了地区>

松島地区、原田(1)地区、原田(2)地区、中洲地区



13 治水対策の推進



治水対策の根幹である河川改修等の推進

予算2,443,875千円
(河川計画課)

大雨による河川の氾濫を防止するため、護岸の整備などの河川改修や雨水の流出抑制を目的とした治水池の整備などを推進するとともに、河川における親水性の向上を図ります。

河川整備

河川改修を進め、河川の氾濫を防止するとともに、親しみのある水辺空間の整備などを行います。

<令和5年度主な予定箇所>

- ・香椎川(継続)
- ・周船寺川(継続)
- ・金屑川(継続)
- ・弁天川(新規)【親水空間の整備】

治水池整備

豪雨時等に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入を軽減します。

<令和5年度主な予定箇所>

- ・源蔵池(継続)
- ・五ヶ村池(継続)

準用河川の洪水浸水想定区域図の作成(新規)

水害リスク情報の周知を図るため、洪水浸水想定区域図を作成します。



14 アセットマネジメントの推進

道路・河川・下水道施設の予防保全型の維持管理の推進

市民の安全で快適な生活に欠かせない、道路・河川・下水道施設の多くが、今後、老朽化等による更新期を迎え、膨大な更新費用が必要となるため、従来の事後保全型の維持管理から計画に沿った予防保全型の維持管理へ転換し、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図ります。

道路のアセットマネジメント

定期点検の結果等を踏まえた、予防保全型の修繕等を実施します。

予算 3,679,523千円
(道路維持課)

・対象施設

舗装、橋梁、トンネル、横断歩道橋、アンダーパス 等

舗装補修（桧原柏原2号線）

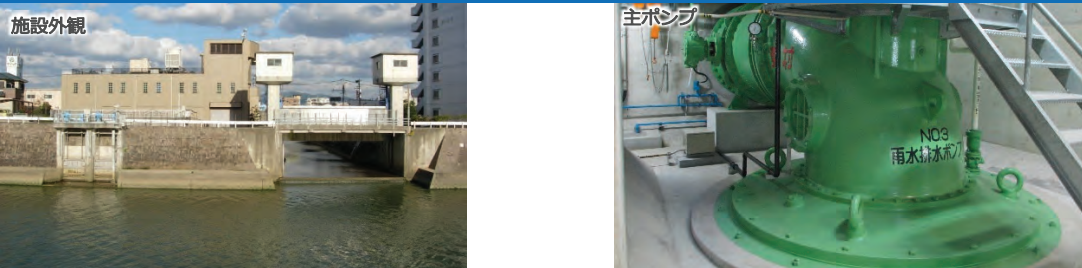


河川のアセットマネジメント

河川管理施設である護岸、排水機場及び水門などの老朽化に伴う更新費用の増大に対応するため、計画的な更新・修繕により、ライフサイクルコストの縮減や投資の平準化を図りつつ、施設の長寿命化を図ります。

予算 920,178千円
(河川計画課)

施設更新（博多区東比恵：上牟田川排水機場）



下水道のアセットマネジメント

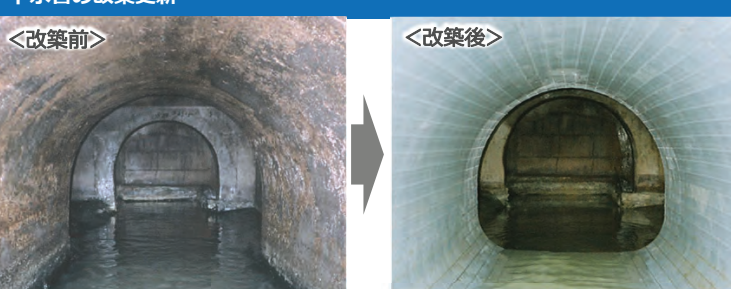
水処理センターやポンプ場の老朽化した設備などについて、予防保全型の改築更新を実施します。また、下水管の埋設時期、管種及びTVカメラによる劣化状況調査などにより、改築更新を計画的・効率的に実施します。特に、都心部は下水道整備時期が早いことから、重点的に取り組みます。

予算 14,254,138千円
(下水道企画課)

テレビカメラ調査



下水管の改築更新



▲古くなった下水管

▲内側から改築した下水管

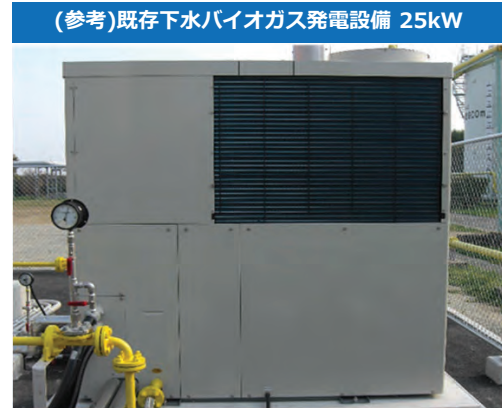
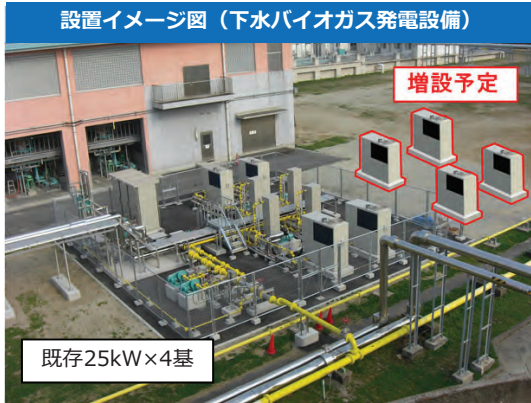
15 再生可能エネルギーの導入推進【拡充】



下水バイオガス発電設備の導入拡大

予算 34,500千円
(施設調整課)

下水の処理過程で発生する下水バイオガスを利用した発電設備の拡大に取り組みます。令和5年度は和白水処理センターにおいて100kW規模の発電能力増強に着手します。



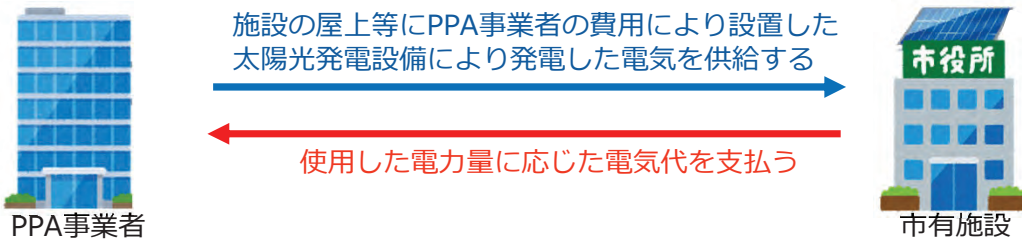
PPA方式による太陽光発電設備の導入拡大

予算 一 千円
(施設調整課)

太陽光発電設備の導入拡大を進めるため、初期投資が不要なPPA方式※を活用し、まずは和白水処理センターと新西部水処理センターへの導入を進めます。

※PPA事業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備をPPA事業者の費用により設置し、発電した電気を需要家に売却する仕組み

【事業スキーム】



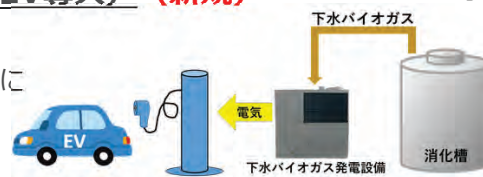
16 その他の取り組み



下水バイオガスで発電した電気の新たな活用 (EV導入) (新規)

予算 3,248 千円
(施設調整課)

令和5年度に更新する庁用車に電気自動車 (EV) を導入し、この庁用車の充電には下水バイオガス発電により得られた電気を活用します。これにより、温室効果ガス削減に貢献します。



デマンドレスポンスを活用した電力需給ひっ迫への対応 (新規)

予算 一 千円
(施設調整課)

電力需給のひっ迫に対応するため、水処理センターのポンプ設備の電力使用量を調整するなど、ピーク時の電力需要抑制に取り組みます。令和7年度からの実運用 (容量市場への参加) に向けて、令和5年度は実効性テストを行います。

【事業スキーム】

